

魔性器によるアナル開発により
魔性器に犯される以外では
イケなくなつてしまった
アリババ神帝ッ！

「だ、誰がそんな事言うもんか！
おれは天使だ！悪魔になんか……
快樂になんか負けるもんか！」

「どうしたイキたいか？
おれを悪魔にして下さいと
言うだけで良いんだぞ？
そうしたらぶち込んでやる」

「んおっ♡おうっ♡うおっ♡
弄るなあ！くおっ♡
おんっ♡おおんっ♡
(ダメだアレが欲しくなる……
太くて熱いアレが……)」

コリッ

コリッ

『あつ♡あつ♡あうつ♡
あ!あ!あ!
そこらめええ♡』

びゅん♡
びゅん♡

(くっ…耐えるんだ…
耐えて…みんなのところに…
帰る…んだ…)

ゴリッ
ゴリッ
ゴリッ

びゅん♡

『ははは
さっきまでの威勢は
どうしたあ
だらしねえ顔しやがって』

必死に耐える
アリババ神帝であつたが
限界の時は近づいていた…

「俺を…俺を悪魔に
してください…♡
イカせて…ちんぽで犯して♡」

「お前は悪魔の才能があるよ…
お前が悪魔になるのは
どうやら運命だったらしい
良いだろう魔洗礼してやる」

「こいつは驚いたな
魔洗礼してやる前に
この空間の魔素で
悪魔化しつつあるじゃねえか」

「ありがとうございます！
運命…あはっ…♡
俺…天使から悪魔になる
運命っ♡あはっ♡
あはははははははっ♡」

ビキ

ビキ

ズッ
…

清らかだった天使の肉体は
変色し歪み鱗が広がっていく……
かつての仲間が対面しても
それがアリババとは
気づかない程に……







